

活動名：第27回喜多方市蔵のまちフットサルフェスティバル4年生大会

日程：令和6年12月14日（土）・15日（日）

会場：喜多方市押切川公園体育館

参加：4年生リフティング上位者 8名

帯同：設楽・貝和コーチ

結果：予選リーグ

VS 南陽 FC（山形県）	2：2	△	
VSAC バンビィ	6：1	○	
VS 会津ビバーチェ	12：1	○	リーグ2位通過

決勝トーナメント

VS 北部 FC（山形県）	2：10	●	
VSFC 西会津	6：2	○	
VSFC ブリーオ	6：2	○	

第5位／16チーム中

報告：設楽

アーレが発足したところからご招待をいただいているこの大会ですが、コロナ禍で3年間休止していましたが、昨年度から再開されて4年生大会、6年生大会と出場させていただいております。

フットサルは5人制であり、遠方の喜多方市で開催されることから、4年生全員を対象にすると参加人数も多くなり、出場時間も短くなることから、7～8名を対象と設定し、リフティング上位者で構成するチームとして今大会は挑むことにしました。

選ばれた子どもたちは、やはりリフティング上位者であることからプレーもそれなりに出来る子たちなので、今大会は上位進出を期待していました。

予選リーグ3試合の戦いですが、初戦に山形県の強豪である「南陽 FC」さんとは2点を前半にリードしていたものの、後半に同点とされて惜しくも引き分けで終わってしまいました。

やはり初戦の戦い方は難しく、緊張や会場の雰囲気慣れることができず普段のプレーより硬くなっていたと思います。得点をリードしていたものの相手の勢いを抑えることができず厳しい引き分けとなってしまいました。

次の二試合は問題無く勝利できたので、やはり今大会のターニングポイントとなった試合はこの初戦で勝利することで2日目の決勝トーナメントで決勝戦まで勝ち上がることが出来たのではないかと思います。

南陽 FC さんに引き分けたことで得失点差で2位なり、2日目の初戦を北部 FC さんと戦うことになりました。

北部 FC さんは今大会でも別格の強豪チームであったので決勝戦で勝負をしたいチームでしたが、決勝トーナメントの初戦で当たってしまう組み合わせになり、結果は大敗をしてしまいました。

6試合で北部FCさんにみに敗戦する好成績でしたが、試合を重ねるたびに自分のポジションの役割や得点や相手からボールを奪うこと、勝敗に拘る気持ちが見えて、参加した8名は即席のチームでしたが協調性が芽生え、観ている人たちに感動を与えることができるプレーを繰り広げてくれました。

自分のプレーで何が通用して何が通用しなかったのか？また、自分よりレベルの高い子たちが居ることも認識できて、とても有意義な大会になったと思います。

北部FCの選手たちは固定メンバーで構成されたチームでしたが、ゴールを貪欲に狙うプレーが4年生のレベルを超えて高く、このチームとまた二年後に6年生大会で対戦する機会があることから、またしっかりトレーニング（練習）していきたいと思います。そのためにも、子どもたち自身がモチベーションを高く持ち、高い技術を習得する気持ちがないとコーチたちの指導も生きてこないと思いますので、保護者の方々もご家庭で子どもへの向上心を育む生活をしていただければと思います。

今回の大会は選抜された子どもたちによるものでしたが、毎月のリフティング記録会を目標に違う子どもたちがメンバーに選ばれるような層が厚い学年になることを期待しています。

二日間、遠い会場で熱い応援を頂きましたご父兄の皆様、ありがとうございました。今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。また、主催の喜多方サッカー協会さま、大変お世話になりありがとうございました。

来年の2月に開催される6年生大会は4年生の頑張り以上にアーレ旋風を巻き起こしてきて欲しいと願います。

コーチ：設楽



